

# モルガン・スタンレー (Morgan Stanley)



## 2018年8月24日満期 豪ドル建ディスカウント社債

### 利率／年(課税前)

豪ドル建の表面利率



### 売出価格

額面金額の  
**69.58%**

### 利回り／年

**6.30%**

(注1) 利回り、利率は豪ドルベースです(為替・税金の考慮はしていません)。(注2) 利回り計算は半年複利です。

### 売出要項

発行体	モルガン・スタンレー	売出期間	2012年2月9日～2月23日
格付け	A2 (Moody's) / A- (S&P) / A (Fitch)	発行日	2012年2月23日
償還価格	額面金額の100.00%	受渡日	2012年2月24日
お申込単位	額面5,000豪ドル単位	償還日	2018年8月24日
		利払日	毎年2月24日および8月24日(年2回)

### 発行者概要 Morgan Stanley (モルガン・スタンレー)

国籍	米国	株主資本	約572億米ドル(4.57兆円、1ドル=80円換算、2010年12月末現在)
所在地	1585 Broadway, New York, NY 10036, USA	総資産	約8,077億米ドル(64.6兆円、1ドル=80円換算、2010年12月末現在)
上場取引所	ニューヨーク証券取引所	自己資本比率	中核的自己資本比率(Tier1) 16.1%(2010年12月末現在)
事業内容	1935年設立。世界43か国に1,300以上のオフィスを展開し、時価総額および資本において世界最大規模を誇るモルガン・スタンレーは、現在、法人、機関投資家をはじめ、政府、個人投資家を含む、幅広い顧客層に包括的なサービスを提供するグローバル総合金融サービス企業です。		
出資構成等	2008年10月、三菱UFJフィナンシャルグループ(MUFG)はモルガン・スタンレーに対し約9,000億円を出資、2011年6月、上記出資に基づき保有していた転換型優先株式を普通株式に転換し、モルガン・スタンレーの議決権の約22.4%を取得しました。これにより、モルガン・スタンレーはMUFGの持分法適用関連会社となりました。		

### 本社債の主なリスク

- 価格変動リスク：途中売却の場合は、金利変動等による債券価格の変動により、投資元本割れのおそれがあります。
- 為替リスク：元利金は外貨によって表示されますが、為替相場の変動により、円によるお受取り金額は増減し、損失を被ることがあります。
- 信用リスク：発行体の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本割れや利金の支払いが遅延または不払いとなるおそれがあります。
- カントリーリスク：通貨発行国の国情の変化(政治・経済・取引規制等)により、投資元本割れや途中売却ができなくなるおそれがあります。
- 流動性リスク：途中売却の際、換金が困難な場合や不利な価格となり損失を被ることがあります。

### 手数料など諸費用について

- 本社債の購入は相対取引となるため、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 外貨建て社債の売買にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定したレートを使用いたします。

### 売買等に関する留意事項

- お申込の際は、必ず契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、お客さま向け資料等をよくお読みいただき、説明を受けた上でお申込ください。
- 本社債は売出社債であり、売出期間中の販売価格(豪ドル建)は額面金額の69.58%となります。
- 利金・償還金のお受取りは、原則利払日・償還日の翌日以降となります。
- 本社債の買付けには、「外国証券取引口座」の設定が必要となります。
- 売出額に限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。
- 外貨建て社債のお取引は、クーリング・オフの対象にはなりません。(金融商品取引法の第37条の6の規定の適用はありません)
- 投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

### 税制に関する留意事項

- 利金：20%(国税15%、地方税5%)の源泉分離課税の対象となります。但し、2013年1月1日から2037年12月31日までは20.315%(国税15.315%、地方税5%)の税率となります。
- 償還差益：雑所得として総合課税の対象となります。
- 途中売却益：途中売却益は非課税扱いとなります。
- 今後、税制当局により税制について新たな変更が行われた場合は、それに従うこととなります。

目論見書のご請求は…



商号等：高木証券株式会社  
金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号  
加入協会：日本証券業協会

